



平成25年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年4月24日

上場会社名 株式会社東陽テクニカ

上場取引所

東

コード番号 8151

URL <http://www.toyo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 五味 勝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長兼経理部長

(氏名) 十時 崇蔵 (TEL) 03-3279-0771

四半期報告書提出予定日 平成25年5月13日 配当支払開始予定日 平成25年6月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第2四半期の連結業績 (平成24年10月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第2四半期	11,252	△10.7	1,854	△25.1	1,894	△28.2	1,165	△23.1
24年9月期第2四半期	12,600	16.5	2,476	35.5	2,637	32.8	1,515	29.2

(注) 包括利益 25年9月期第2四半期 1,440百万円(△12.4%) 24年9月期第2四半期 1,643百万円(40.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第2四半期	40.58	40.39
24年9月期第2四半期	52.10	51.91

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第2四半期	36,607	31,882	86.9
24年9月期	36,927	32,241	87.2

(参考) 自己資本 25年9月期第2四半期 31,815百万円 24年9月期 32,198百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	12.00	—	27.00	39.00
25年9月期	—	16.00	—	—	—
25年9月期(予想)	—	—	—	31.00	47.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年9月期の連結業績予想 (平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,500	2.9	3,200	3.6	3,500	0.7	2,100	11.0	74.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」に該当しております。詳細は添付資料4ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

25年9月期2Q	29,085,000株	24年9月期	30,637,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年9月期2Q	962,126株	24年9月期	1,552,152株
----------	----------	--------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

25年9月期2Q	28,723,682株	24年9月期2Q	29,084,750株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(7) 重要な後発事象	12
4. 参考情報	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、金融緩和期待から円安が進展、輸出企業への追い風となり、収益改善予想が株価全体の上昇をもたらしました。個人消費も持ち直しの動きが見られ、景気全体の先行きには不安があるものの、ほのかな明るさが見え始めました。一方で、米国の景気は緩やかに回復基調を保ちましたが、依然として債務不安を抱えるヨーロッパ経済は低調に推移し、中国では予想の範囲内ながら景気拡大のスピードが弱まってきています。また、その他の新興国経済も今一つ力強さが欠ける状況でした。

こうした中、当社グループは“はかる技術”を基本としたビジネスコンセプトを継続しながら、研究開発市場に傾注してまいりました。そして国内産業の次なる成長の糧となる“新しい技術・製品の開発”の一翼を担うべく、欧米を中心にした先端計測技術・機器の導入と、ソフトウェアを中心にした自社システム製品の増強に力を入れてきました。この結果、連結売上高は112億5千2百万円（前年同四半期比10.7%減）となり、この内、輸入国内取引高は108億9千2百万円、韓国向けを中心とした日本からの輸出取引高は3億4千5百万円となりました。

利益面では、営業利益18億5千4百万円（前年同四半期比25.1%減）、経常利益18億9千4百万円（前年同四半期比28.2%減）、四半期純利益は11億6千5百万円（前年同四半期比23.1%減）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

（物性測定機器事業）

物性測定機器事業におきましては、新エネルギーの要素技術である電池素材の開発や新たな半導体素材の研究が継続し、物質の電気特性の測定評価への強いニーズは依然高いまま推移しました。この結果、売上高は24億9百万円（前年同四半期比9.4%減）、営業利益は3億4千6百万円（前年同四半期比33.5%減）となりました。

（情報通信測定機器事業）

情報通信測定機器事業におきましては、スマートフォンの普及による急激なデータ増に対応すべく、LTEやクラウドコンピューティング、ビッグデータに関連する技術開発が従来に倍するスピードで進んでおり、合わせてセキュリティへの関心も強くなっております。この結果、売上高は33億2千7百万円（前年同四半期比3.2%増）、営業利益は5億2千2百万円（前年同四半期比15.9%減）となりました。

（振動解析測定機器事業）

振動解析測定機器事業におきましては、鉄道・航空関連産業向けは堅調でしたが、中心となる自動車関連業界の研究開発投資が中国市場の不調の影響により低調に推移しました。この結果、売上高は20億円（前年同四半期比16.3%減）、営業利益は6億4千4百万円（前年同四半期比34.5%減）となりました。

（EMC測定機器事業）

EMC測定機器事業におきましては、国内市場は特に大手電機各社を中心として依然低調であり、中国市場で補うにはいたりませんでした。この結果、売上高は11億1千7百万円（前年同四半期比15.8%減）、営業利益は8千4百万円（前年同四半期比41.3%減）となりました。

（その他の測定機器事業）

その他の測定機器事業におきましては、多岐に渡る測定分野が対象になっており、復興需要を背景にした海洋計測機器は堅調でしたがその他の分野に伸びがみられず、売上高は22億8千1百万円（前年同四半期比12.0%減）、営業利益は4億4千6百万円（前年同四半期比18.3%減）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ3億2千万円減少し、366億7百万円となりました。主な減少要因は、投資有価証券の減少15億7千5百万円、有価証券の減少2億9千8百万円等によるものであります。一方、主な増加要因は、受取手形及び売掛金の増加16億8千1百万円等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ3千8百万円増加し、47億2千5百万円となりました。主な増加要因は、支払手形及び買掛金の増加5億9千2百万円等によるものであります。一方、主な減少要因は、未払法人税等の減少3億4千8百万円等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ3億5千8百万円減少し、318億8千2百万円となりました。主な減少要因は、自己株式の取得10億3千6百万円及び配当金の支払い7億8千5百万円等によるものであります。一方、主な増加要因は、四半期純利益11億6千5百万円等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ2億8千万円減少し、39億7千9百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

資金の主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益19億1千3百万円の計上及び仕入債務の増加額5億9千2百万円によるものであり、一方、資金の主な減少要因は、売上債権の増加額16億8千1百万円及び法人税等の支払額10億5千6百万円によるものであります。

この結果、営業活動によるキャッシュ・フローは3億6千6百万円の減少(前年同四半期は5億1千9百万円の増加)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

資金の主な増加要因は、有価証券の売却による収入36億3千5百万円によるものであり、一方、資金の主な減少要因は、有価証券の取得による支出11億8百万円及び投資有価証券の取得による支出6億円によるものであります。

この結果、投資活動によるキャッシュ・フローは18億8千8百万円の増加(前年同四半期は3億3千1百万円の減少)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

資金の主な減少要因は、自己株式の取得による支出10億3千6百万円及び配当金の支払額7億8千5百万円によるものであります。

この結果、財務活動によるキャッシュ・フローは18億2千2百万円の減少(前年同四半期は3億7千8百万円の減少)となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年9月期の連結業績予想につきましては、平成24年10月24日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,596,609	2,615,149
受取手形及び売掛金	3,955,258	5,636,801
有価証券	9,519,307	9,220,534
商品及び製品	819,038	723,378
その他	724,145	811,352
貸倒引当金	△800	△1,100
流動資産合計	17,613,559	19,006,116
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,532,394	2,481,456
車両運搬具(純額)	11,787	9,291
工具、器具及び備品(純額)	396,143	367,928
土地	5,596,785	5,596,785
有形固定資産合計	8,537,111	8,455,460
無形固定資産		
その他	48,185	79,245
無形固定資産合計	48,185	79,245
投資その他の資産		
投資有価証券	6,637,416	5,061,599
その他	4,116,843	4,030,662
貸倒引当金	△25,800	△25,800
投資その他の資産合計	10,728,460	9,066,462
固定資産合計	19,313,757	17,601,169
資産合計	36,927,316	36,607,286
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,552,414	2,144,795
未払法人税等	1,072,440	724,169
賞与引当金	540,000	500,000
役員賞与引当金	38,000	—
その他	830,866	706,489
流動負債合計	4,033,721	4,075,454
固定負債		
退職給付引当金	485,778	492,548
その他	166,560	157,020
固定負債合計	652,338	649,568
負債合計	4,686,059	4,725,022

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,158,000	4,158,000
資本剰余金	4,603,500	4,603,500
利益剰余金	25,232,319	24,005,914
自己株式	△1,638,583	△1,068,840
株主資本合計	32,355,236	31,698,573
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△154,824	73,125
繰延ヘッジ損益	△1,882	28,916
為替換算調整勘定	△442	15,247
その他の包括利益累計額合計	△157,149	117,289
新株予約権	43,169	66,400
純資産合計	32,241,256	31,882,263
負債純資産合計	36,927,316	36,607,286

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)
売上高	12,600,963	11,252,438
売上原価	6,650,613	6,084,049
売上総利益	5,950,350	5,168,389
販売費及び一般管理費	3,474,001	3,313,404
営業利益	2,476,348	1,854,984
営業外収益		
受取利息	80,649	55,352
受取配当金	19,506	19,317
有価証券売却益	7,264	6,538
為替差益	20,301	—
その他	71,657	7,993
営業外収益合計	199,378	89,203
営業外費用		
支払利息	2,657	1,944
有価証券売却損	16,460	12,002
為替差損	—	28,025
持分法による投資損失	17,918	—
その他	919	8,075
営業外費用合計	37,956	50,047
経常利益	2,637,770	1,894,140
特別利益		
固定資産売却益	4,627	29,448
国庫補助金	—	3,242
特別利益合計	4,627	32,690
特別損失		
固定資産処分損	570	4,847
固定資産圧縮損	—	3,020
ゴルフ会員権評価損	—	5,786
為替換算調整勘定取崩額	55,385	—
特別損失合計	55,955	13,653
税金等調整前四半期純利益	2,586,442	1,913,177
法人税、住民税及び事業税	1,193,000	712,000
法人税等調整額	△121,947	35,590
法人税等合計	1,071,052	747,590
少数株主損益調整前四半期純利益	1,515,390	1,165,586
四半期純利益	1,515,390	1,165,586

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,515,390	1,165,586
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	63,652	227,949
繰延ヘッジ損益	7,396	30,798
為替換算調整勘定	57,086	15,690
その他の包括利益合計	128,135	274,438
四半期包括利益	1,643,526	1,440,024
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,643,526	1,440,024
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,586,442	1,913,177
減価償却費	191,748	167,273
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	600	300
賞与引当金の増減額 (△は減少)	10,000	△40,000
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△30,000	△38,000
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	27,583	6,770
受取利息及び受取配当金	△100,155	△74,670
支払利息	2,657	1,944
持分法による投資損益 (△は益)	17,918	—
有価証券売却損益 (△は益)	9,196	5,463
固定資産除売却損益 (△は益)	△4,057	△24,601
為替換算調整勘定取崩損	55,385	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,230,812	△1,681,221
たな卸資産の増減額 (△は増加)	253,175	95,659
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,067,681	592,276
その他	371,658	△320,259
小計	1,229,023	604,112
利息及び配当金の受取額	92,730	75,482
利息の支払額	△2,657	△1,944
法人税等の支払額	△799,124	△1,056,184
法人税等の還付額	—	11,644
営業活動によるキャッシュ・フロー	519,971	△366,889
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△1,273,273	△1,108,906
有価証券の売却による収入	2,511,646	3,635,603
有形固定資産の取得による支出	△144,375	△82,565
有形固定資産の売却による収入	7,281	37,275
無形固定資産の取得による支出	△1,293	△468
投資有価証券の取得による支出	△1,412,852	△600,000
投資有価証券の売却による収入	—	15,202
その他	△18,894	△7,457
投資活動によるキャッシュ・フロー	△331,761	1,888,684
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△67	△1,036,905
配当金の支払額	△378,095	△785,290
ストックオプションの行使による収入	1	2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△378,162	△1,822,194
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,450	20,048
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△193,402	△280,350

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)
現金及び現金同等物の期首残高	3,423,849	4,261,062
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△787
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,230,447	3,979,924

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	物性 測定機器 事業	情報通信 測定機器 事業	振動解析 測定機器 事業	EMC 測定機器 事業	その他の 測定機器 事業	計		
売上高	2,658,655	3,225,235	2,390,173	1,327,341	2,594,185	12,195,592	405,371	12,600,963
セグメント利益 又は損失(△)	520,995	620,968	984,112	144,615	546,027	2,816,719	△4,219	2,812,499

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に韓国向けの社会インフラ等の販売を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,816,719
「その他」の区分の損失	△4,219
全社費用(注)	△336,151
四半期連結損益計算書の営業利益	2,476,348

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	物性 測定機器 事業	情報通信 測定機器 事業	振動解析 測定機器 事業	EMC 測定機器 事業	その他の 測定機器 事業	計		
売上高	2,409,353	3,327,608	2,000,906	1,117,439	2,281,885	11,137,193	115,245	11,252,438
セグメント利益 又は損失(△)	346,204	522,440	644,742	84,953	446,101	2,044,441	△9,833	2,034,608

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に韓国向けの社会インフラ等の販売を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,044,441
「その他」の区分の損失	△9,833
全社費用(注)	△179,623
四半期連結損益計算書の営業利益	1,854,984

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

(1) 自己株式の取得

当社は、平成24年10月24日開催の取締役会の決議に基づき、平成24年10月25日から平成25年3月22日にかけて、市場買付により当社普通株式964,300株を総額1,036,737千円にて取得しております。

(2) 自己株式の消却

当社は、平成24年10月24日開催の取締役会の決議に基づき、平成25年1月15日付で自己株式1,552,000株の消却を実施しております。この結果、自己株式が1,604,036千円減少し、利益剰余金も同額減少しております。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 参考情報

業績の推移（実績と計画）

第2四半期 連結累計期間	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期 純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益 (円)	1株当たり 純資産 (円)	期末発行済 株式数 (千株)
第57期 (2009-3)	10,975	1,465	1,555	849	28.83	1,051.57	29,038
第58期 (2010-3)	9,824	989	1,153	1,822	62.68	1,092.77	29,078
第59期 (2011-3)	10,812	1,827	1,985	1,172	40.33	1,079.36	29,082
第60期 (2012-3)	12,600	2,476	2,637	1,515	52.10	1,111.77	29,085
第61期 (2013-3)	11,252	1,854	1,894	1,165	40.58	1,131.32	28,122

通期	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)	1株当たり 純資産 (円)	期末発行済 株式数 (千株)
第57期 (2009-9)	18,435	1,089	1,386	902	30.82	1,045.96	29,072
第58期 (2010-9)	17,840	1,236	1,588	1,915	65.88	1,087.32	29,080
第59期 (2011-9)	18,383	1,992	2,338	1,393	47.91	1,068.30	29,084
第60期 (2012-9)	20,884	3,090	3,474	1,892	65.08	1,107.04	29,084
第61期 (2013-9) 計画値	21,500	3,200	3,500	2,100	74.93	—	—

(注) 1株当たり当期純利益は期中平均発行済株式数、1株当たり純資産は期末発行済株式数にてそれぞれ算出しております。